

小松じんぶん通信

第3号 令和7年7月 発行
石川県立小松高等学校 NSH担当

J・Kゼミのテーマ報告会が開催されました！

●各班、これまでの研究成果を報告しました

6月25日(水)に21H生徒(2年人文科学コース)と22H23H生徒(2年普通科文系コース)による「課題研究」テーマ報告会が合同で開催されました。今年のテーマ報告会は分野ごとに3つの会場を設け、8名の助言者を迎えて行われました。

(国語)

金沢大学人文社会研究域人文学系 教授 高山 知明 氏 准教授 原 佑介 氏

(英語)

公立小松大学国際交流学部 学長補佐 教授 小原 文衛 氏 教授 島内 俊彦 氏

(地歴・体育・情報)

金沢大学融合研究域融合学系 副学長 教授 尾島 恭子 氏

金沢学院大学スポーツ科学部 教授 清田 直恵 氏

京都女子大学データサイエンス学部 准教授 道越 秀吾 氏

京都大学大学院法学研究科博士課程 大森 道也 氏

ラウンド・テーブル(座談会)形式で報告会は行われ、発表者・助言者の双方によって建設的な議論が交わされる一幕もありました。様々な先生方、他のグループの生徒との対話を通し、生徒たちが日々のJゼミ(人文科学コース21H生徒の探究活動)・Kゼミ(普通科文系コース22・23H生徒の探究活動)に思いを巡らせる日になりました。今後の研究がより一層充実したものになることが期待されます。

(以下に報告会の様子と各班のテーマ一覧を紹介します。)

●R7 Jゼミ（人文科学コース21H生徒による課題探究活動）テーマ一覧

A	伊勢物語の作者はどうして隠されたのか	E	仮設住宅の満足度を高めるにはどうすれば良いか
B	現代日本における望ましい婚姻制度はどのようなものか	F	英文法を起源から学ぶことは英語学習に対する意識改善へと繋がるのか？
C	女性の社会的立場の変容を小説から読み取る	G	スピーチからみるアメリカが求める若者像
D	小松市、国際デビュー計画	H	英語の文面で冷たすぎずうざすぎない距離感の会話をするための絵文字の利用のしかた

●R7 Kゼミ（普通科文系コース22・23H生徒による課題探究活動）テーマ一覧

A	現代と昔の青春の価値観に違いはあるのか	I	高校生のリスニング力をあげる方法 ～共テへむけて～
B	源氏物語の恋愛と現代の恋愛の共通点・相違点は何なのか	J	日本の英語教育で英語を話せるようになるのか
C	広告のキャッチコピーが人の購買意欲に与える影響	K	世界の制服と美意識の関連
D	源氏物語から学ぶモテテク	L	チップ文化
E	おしゃべりと解放者～風刺画から学ぶナチス～	M	モテるマッチョ
F	感染症と戦争とのつながりの歴史	N	江戸時代と現代の筋肉のつき方の共通点と相違点
G	奥能登地域で人口減少割合に差があるのはなぜか	O	AIと人間の会話の傾向の比較
H	観光の視点で見る能登の復興	P	仮想空間から分かる水害の脅威～made with unity～

●J・Kゼミ合同報告会の様子



AI活用講座が開催されました！

7月10日(木)に21H生徒(2年人文科学コース)と22H23H生徒(2年普通科文系コース)を対象に、AI活用講座が開かれました。金沢工業大学 情報理工学部 知能情報システム学科から山本知仁教授をお迎えし、「高校での学びを加速する生成AIの活用法-プロンプトエンジニアリングを中心として-」と題した講義および演習を行いました。講義では生成AI(ChatGPTなど)の仕組みや、教育分野における活用の可能性、特に「プロンプトエンジニアリング」と呼ばれる入力文の工夫によって得られる出力がどのように変化するかについて、実例を交えてわかりやすく解説されました。

演習では、実際に生徒がAIに対してプロンプトを入力し、文章作成や情報整理を体験。単なるツールとしてではなく、思考を深める補助としてのAI活用の可能性を実感しました。

生徒からは「AIを使うことで学習の幅が広がることを実感した」「将来の仕事にもつながりそうな内容だった」といった感想が聞かれ、生成AIへの理解と興味を深める貴重な機会となりました。



講座の様子

今後の予定 (変更になる可能性もあります)

9月10日 中間報告会(夏休みの成果)

9月24日(水)～25日(木) 関東ヒューマンセミナー

- 1.目的 首都東京で政治経済の中心業務を担う公的機関や幅広く国際的な活動を展開している機関や企業を訪ねることにより 生徒の視野を広げ、将来日本の中心的な役割や国際的な立場を担うことについて考えさせることを目的とする。
- 2.参加者 2年生 人文科学コース(21H) 男子15名 女子25名 計40名